

## 職業実習の取組紹介と受入のお願い

本学は、社会に開かれた個性ある大学として、産学協同を通じて新潟県内産業界に貢献することを基本理念とし、開学当初から地元の産業界から多くのご支援をいただきながら実践的な技術者の育成に努めてまいりました。昨今の少子高齢化の加速度的な進行が地域産業における優秀な人材確保に大きく影響する中、本学は県内企業からのご協力のもと「産学協同」による特色ある教育活動を展開しております。

その中でも学生が最も密接に企業と関わるものが3年次生を対象とした2週間のインターンシップです。具体的には、企業研究～現場実習～成果報告を行う正課プログラム「職業実習」として平成10年度から継続して開講しており、例年多くの交流会会員企業で実習が行われてきました。本プログラムは、企業人となる自覚を促すもので、学生の成長に大きく寄与するものですが、一方で受入れ先の企業の皆様にはお手数をおかけしているところがございます。しかし、学生の実習先への就職の実績もあり、そのほかにも、若者の特性を知る機会を得ることや、学生の指導を経験することによる社員のスキルアップなど、企業側のメリットも少なくないと確信しておりますので、今後ともご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



## 新潟工科大学産学交流会奨学金 「未来応援プログラム」ご寄付のお願い!



新潟工科大学産学交流会奨学金「未来応援プログラム」は、会員企業の皆様からのご寄付を基に学生の夢や目標などを応援する、「給付型奨学金&育成プログラム」です。これにより、学生は夢に向かって学業に専念できるようになる他、資格取得や課外活動・研究等の充実など、新たなチャレンジができるようになり、支援いただいた多くの学生は優秀な成績を収め、会員企業を始めとする県内各地の企業で活躍しております。

つきましては、大変厳しい状況が続いている昨今ではございますが、何卒本プログラムの趣旨をご理解いただき、地域社会や産業界への貢献に資する投資として、学生の未来を応援くださいますよう、お願い申し上げます。

### 【募集要項】

1. 寄付単位：1060万円
2. 寄付年度：4月1日～3月31日(※年度単位)
3. 税制優遇：日本私立学校振興・共済事業団から発行される「寄付金領収書」により、全額損金とすることができます。

### 【ご協賛金額について】

—1060万円/年を基準としております。

### 【寄付企業のメリット】

1. 具体的な夢や目標を持つ「奨学生」との交流の機会が増えます。
2. 貴社の概要・技術・目標・やりがいなどを学生にPRできます。

## 人材育成に「企業向け出前講座」を活用ください!

本学では、教育や研究の成果を企業の社員教育に貢献させていただきたいとの想いから、企業様の研修講座に講師を派遣させていただきます。実施形態は、企業様の研修室や会議室等の指定場所で1回当たり60～90分を標準(複数回可)としております。希望テーマや講座内容の相談等は随時受付けておりますので、地域産学交流センターにお問い合わせください。

### 【講座テーマ一覧】

加工の基礎のキソ	品質管理と3σ	図面の読み方・描き方	機械要素	技能士資格受験対策	資源の利活用
化学的エネルギー貯蔵	構造物の寿命管理	ガスタービンと超合金	時刻歴波形スペクトル	有限要素解析(FEM)	D X
統計	人間共存型ロボット	ロボットプログラミング	ロボットの社会実装	R O S	ロボットシュミレータ
メカトロニクス	超電導	スピントロニクス	パルス高電圧	デジタル画像処理	磁気記録技術
マイクロコンピュータ	テキストマイニング	コンピュータ・ネットワーク	カオス時系列解析	光工学	機械的消泡技術
固体電解質	無機ナノ材料	スクリーニング	バイオガス	機能的食品	食品素材開発
都市計画	建築士試験対策	インテリアパストレーディング	CG	地震応答解析	風・流れを捉える技術
構造設計	まちづくり活動	生活の質を高める設計	建築構造物モノの二タリング		

【講座実施料】1回(60～90分を標準)当たり、60,000円をご負担いただきます。  
※新潟工科大学産学交流会会員企業は、半額の30,000円になります。

### ■ 編集後記

令和4年度は、ロシアのウクライナ侵攻や急激な円安等による燃料・原材料価格等の物価高騰により、地域経済に大きな影響を及ぼしました。また一方、脱炭素化社会に向けて再生可能エネルギーの活用や省力化、生産性向上等の各企業の取り組みが求められております。そのような中、本学といたしましては、各企業や地域経済がこれからも発展して行くため、変革に向けた技術的な課題への取り組みを支援して参りたいと考えております。ぜひお困りごとがございましたら、ぜひ本学へお気軽にご相談ください。

### ■ 発行

新潟工科大学地域産学交流センター広報誌 第18号  
令和5年3月31日  
新潟工科大学地域産学交流センター運営委員会

### ■ 連絡先

新潟工科大学地域産学交流センター  
〒945-1195 新潟県柏崎市藤橋1719  
新潟工科大学 キャリア・産学交流推進課内  
TEL : 0257-22-8110  
FAX : 0257-22-8123  
E-mail : career-sangaku@adm.niit.ac.jp